

図3. 回答者年齢層別グラフ

大人	10
大学生	5
高校生	2
中学生	5
小学生以下	58
計	80

3-2. 設問2:リポート率

68.8%が2回目以上のリピート客であった。

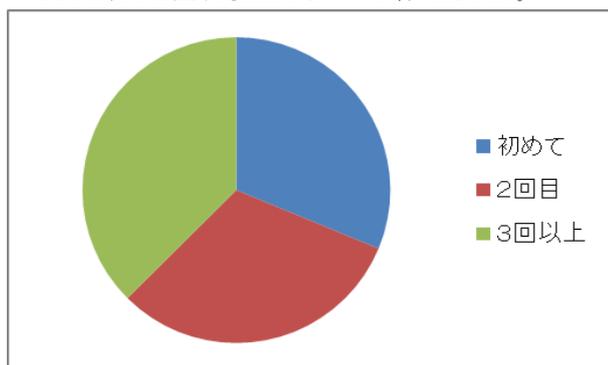


図4. リピート率グラフ

初めて	25
2回目	25
3回以上	30
計	80

3-3. 設問3: 観覧したプログラム

観覧したプログラムはプラネタリウムA「天の川ってなんだろう」が32.5%、プラネタリウムB「月へいこう」が55%であった。

表1: 観覧プログラム種別

天の川ってなんだろう	26
月へ行こう	44
ファミリータイム	5
HAYABUSA	5

3-4. 満足度

「とてもよかった」「よかった」の合計は85%であった。一方「あまりよくなかった」が1件、「よくなかった」が2件あったが、「月へいこう」と「ファミリータイム」に対する対するものだった。

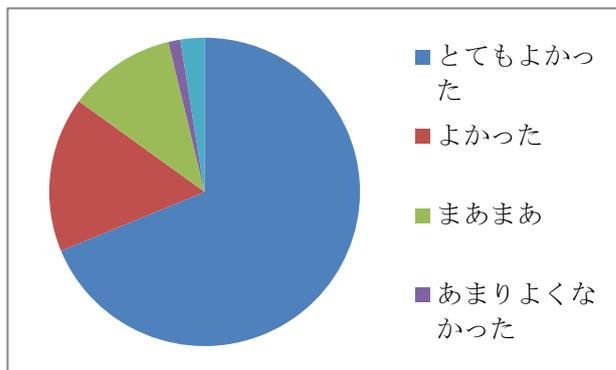


図5. 満足度グラフ

表2: 評価内訳

とてもよかった	55
よかった	13
まあまあ	9
あまりよくなかった	1
よくなかった	2
計	80

3-5. 自由記載欄(感想、要望等)

(1) 感想

- ・またきたいです。3回目だけど、いつもたのしい
- ・星々が公(原文ママ)に見えた
- ・ほしがたくさんみえてすごかった
- ・星がいっぱいみえてよかったなどおもいました
- ・プラネタリウムがよかった。星をいっぱいみれた。
- ・とても楽しかったです。
- ・つきのがよくわかったし、ほし、せいざもよくわかってたのしかったです。
- ・月のことがいろいろ知れて良かった。
- ・楽しそうだった
- ・楽しかったです！
- ・せいざのがよくわかりました
- ・すごくよかった。
- ・せつめいがわかりやすい。
- ・すごくきれいでした
- ・もっと星が見たかったです。
- ・まあまあ
- ・おもしろなかったで

- ・ふたござはいっぱいでできにありましたか？(原文ママ)
- ・ふたござなかった
- ・二時間がよかった。もつとしたりたかった。
- ・たのしかった、くらかった、明るかった
- ・全部
- ・軽いギャグセンスが抜群。
- ・いろいろなせいざがわかっておもしろかったです。
- ・ありがとう

(2) 要望

- ・プラネタリアムの惑星のCGが安っぽいのと、BGMがJ-POPで一気に現実に戻されるのはどうかと思いました。
- ・土星などのCGが安っぽかった
- ・火星と木星の●にもっと立体感がほしい。
- ・解説の人、もう少しゆっくり話してください
- ・南半球から見える星の話
- ・太陽
- ・天の川
- ・ブラックホールについて
- ・ISSについてのプラネタリアムが見たいです。
- ・宇宙での速さについて特集できないか
- ・冥王星の説明がもっとほしい。
- ・オーロラ
- ・アンドロメダ銀河のやつもまた見たい。
- ・アロマもしてほしい。
- ・宇宙を旅したい。

(3) その他

- ・かんないがきれい。
- ・きてよかった

4. まとめ

有効回答数が80件なので、強い結論は出すことができないが、アンケート結果(図5)を見ると、期間中の投影については、概ね好評であった。

ただし、満足度(「とてもよかった」+「よかった」の割合)が前回2013年12月度[1]の89.9%を下回ったことは、反省の余地(必要性)があることを示していると言えるだろう。「まあまあ」と答えた11%の方に「よかった」と言ってもらえるよう、今後も精進を重ねる所存である。

参照

[1]石坂千春(2014),「プラネタリアムに関する観覧客満足度調査の結果について」,大阪市立科学館研究報告第24号, pp.107-110